



ひとと環境にやさしい住まいづくり

株式会社
イケダコーポレーション

 0120-544-453

仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

〒553-0003 大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F
〒104-0045 東京都中央区築地7丁目10-2 築地小川ビル4F

URL <http://www.iskcorp.com>
E-mail info@iskcorp.com





天然スイス漆喰 カルクウォール・カルククリーム

内装施工仕様書

天然スイス漆喰 カルクウォール
Calk Wall

Ccalk
cream

改訂：2013年10月

天然スイス漆喰 カルクウォール・カルククリーム

内装施工仕様書

c o n t e n t s

P 2	はじめに
P 3	ボードの貼り方
P 5	下地処理
P 7	仕上げの前に
P 8	カルクウォール施工手順
P 9	カルククリーム施工手順
P 10	リフォームでの施工手順
P 11	テクスチャーの仕上げ方
P 12	メンテナンスの方法
P 13	スイスウォールシリーズ

安全上の注意

1. 目や口に入らないようにしてください。特に天井や吹き付け施工の際は、目に骨材や漆喰成分が入らないように、必ずゴーグルなどを装着してください。
(カルクウォールやミネラル下地材が目に入った場合、直ちに大量のきれいな水で洗い、直ぐに眼科の検診を受けてください。)
2. 乾燥前のスイス漆喰は強アルカリ性です。作業にあたっては、作業着を必ず着用し素肌の露出を少なくしてください。また、ゴム手袋やゴーグルなどで皮膚や目を保護してください。
3. 子どもの手の届かない所に保管してください。
4. 製品の保管は乾燥した冷暗所に保管してください。保管期間は未開封の状態です。冬季は凍結の恐れのある場所での保管は避けてください。

はじめに

天然スイス漆喰は、スイス アルプス山脈から豊富に採れる純度の高い石灰石を原料とした天然100%の漆喰です。合成樹脂を含まない自然に寄り添った高品質なカルクウォールは、300年以上変わらないスイスの伝統製法から生まれる人と環境にやさしい塗り壁材です。スイス漆喰は調湿性、消臭効果、防カビ効果に優れ、室内環境をいつも快適に保ちます。

スイス漆喰はビニールクロスや、樹脂を含む塗り壁、弾性のある化学系塗り壁とは異なり、**適切な左官(塗り壁)用の下地**が必要です。施工中、施工後の不具合を起こさないよう、施工仕様書を必ずご確認ください。

施工上の注意

○ 施工上の重要な注意点

1. 冬季など気温が低く乾燥状態が悪い場合は、色ムラを起こしたりアクが出やすくなるので、必ず暖房を入れ、こまめに換気してください。
2. スイス漆喰の乾燥中は室内に大量の湿気が発生するので、こまめに換気をしてください。
また、気温の低い日や湿気の多い日には、除湿面積の大きい除湿機の使用をお奨めします。
3. 急激な乾燥はクラックの原因になるのでご注意ください。
4. 振動を伴う作業はスイス漆喰の施工前に済ませてください。
5. 浴室などスイス漆喰が常に乾燥できない場所への施工は、剥離の不具合を招くので施工を避けてください。
6. コンロ周りへの施工は、油跳ねが付きやすくなります。
7. スイス漆喰施工後の住宅設備機器等の取り付けは、細心の注意をはらってください。
※寒冷地や特に気温の低いエリア等、地域により施工条件が変わる場合があります。
施工上の詳しい情報は、当社担当スタッフにお問い合わせください。

○ クラックについて

塗り壁用の下地をつくることで、大きなクラックを予防することは出来ませんが、建物自体の動きは、部屋の入隅部分に力が集中するため、クラックの発生しやすい場所となります。カルクウォールは石灰を原料にした純粋な無機系塗り壁材です。カルクウォールの特性を十分にご理解いただき施工をお願いいたします。







クラックの補修方法は「p 12. メンテナンスの方法」をご覧ください。

スイス漆喰 カルクウォールは合成樹脂を含まない天然100%の漆喰です。カルクウォールの特性を十分にご理解頂き施工をお願いいたします。

イケダコーポレーションは、人と環境にやさしいエコロジーな素材で呼吸する丁寧な家づくりを応援しています。

ボードの貼り方

●石膏ボードの選定

商品名	強度	イラスト	理由
テーパーボード			○パテの厚みが出にくい ○ボード同士の密着強度が高い
ベベルボード (Vボード)			×パテの厚みが出やすい
ジョイントボード (平ボード)			×パテの厚みが出やすい ×ボード同士の密着強度が低い

■12.5mm厚のボードを選定します。

※9.5mm厚の場合、ボードの歪みによるクラックが起こる可能性があります。

■管理状態の悪いボードや、耐水性のあるボード、ホルムアルデヒドを吸収分解する特性をもつボードでは、塗布後、表面にアクが出る恐れがあるのでご使用は避けてください。

●ボードの貼り方

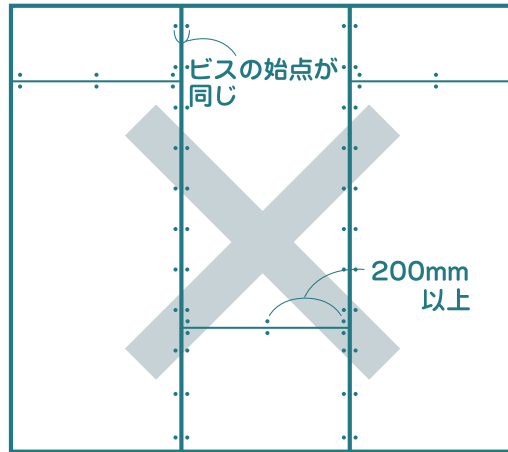
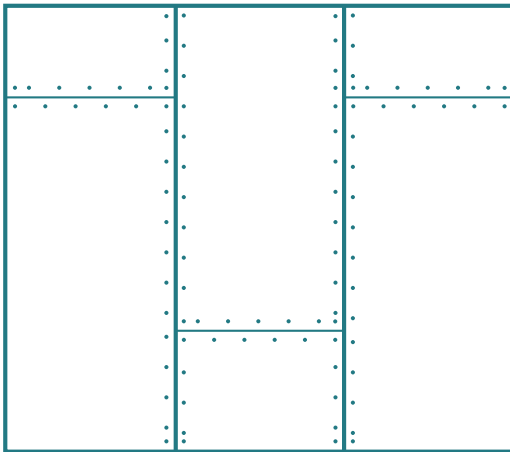
■より割れない下地には、二重貼りをお奨めします。

■ベニア・コンパネ・石膏ボードは、それぞれ伸縮率が異なる為、ジョイント部分にクラックが発生しやすくなります。十分に考慮して施工して下さい。

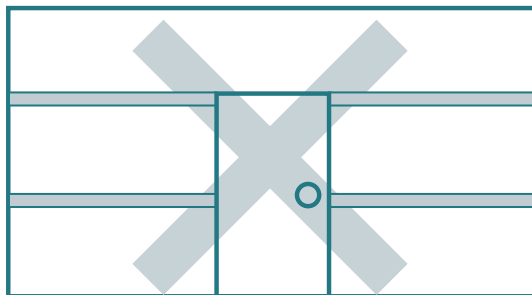
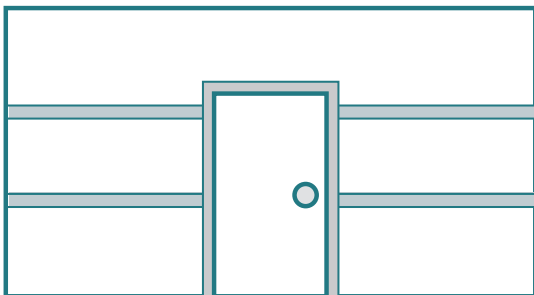
●ビス留めの間隔

■ボードの継手部分は150mm以内の間隔でボードを平頭ビスで留める。胴縁施工(大壁)の間隔は455mm以内、間柱施工(真壁)の間隔は303mm以内とする。

■天井野縁の間隔は303mm以内とする。



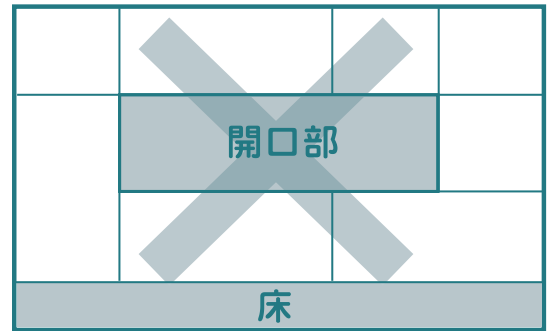
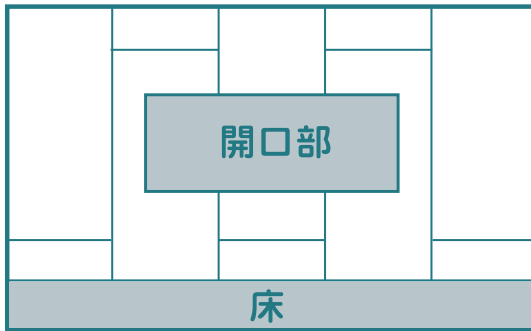
●受け木のまわし方



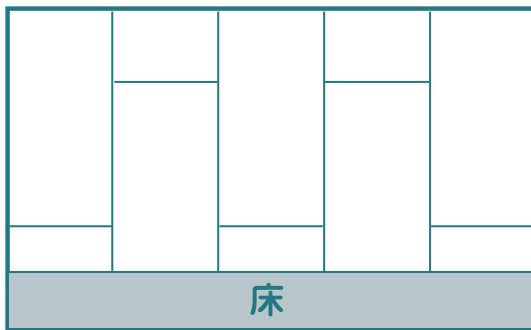
・窓、ドアの周囲に受け木をまわす事で、ボードを固定し、割れを防ぎやすい。

●開口部のジョイントのつくり方

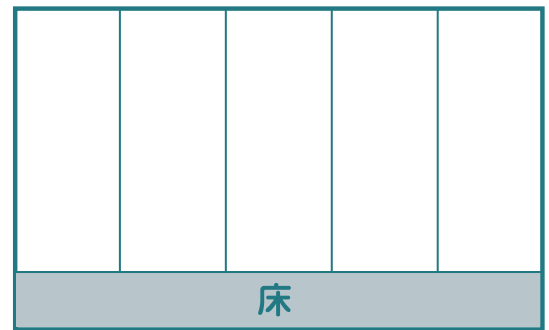
・ジョイント部分が窓、ドアの延長線にあると、開閉の際の振動等でクラックが入りやすい。



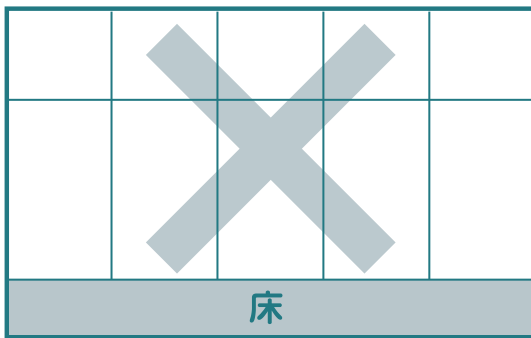
●塗り壁に適したジョイントのつくり方



・千鳥貼り・・・ボードの継手に横目地が通らず、十字にならないので、動きが少なく割れにくい。

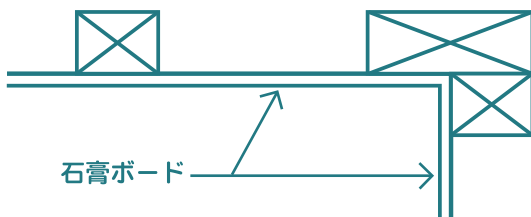


・3×8ボードを貼り、横目地を無くす事でクラックを防ぎやすい。



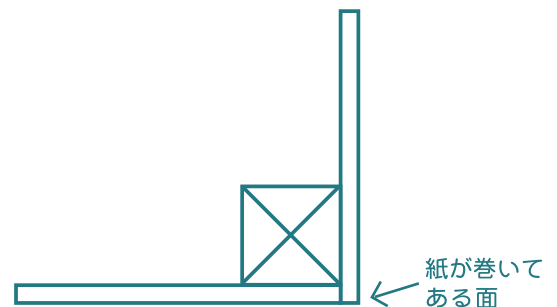
・縦、横に目地が入ると動きやすく、クラックが入りやすい。

●入隅・出隅のつくり方



■入隅の補強例

入隅は木下地で補強する。

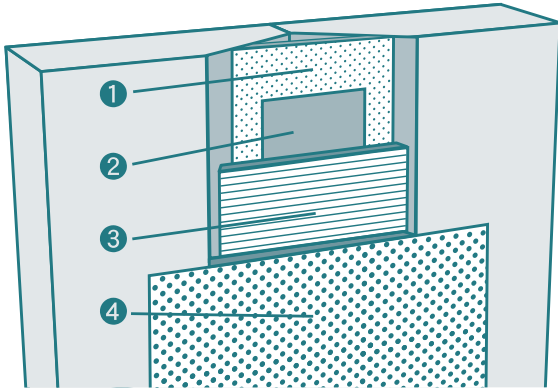


■出隅の納まり

出隅は吸水しやすいので、石膏ボードの切断面が出ないように紙が巻いてある面を使用する。

下地処理

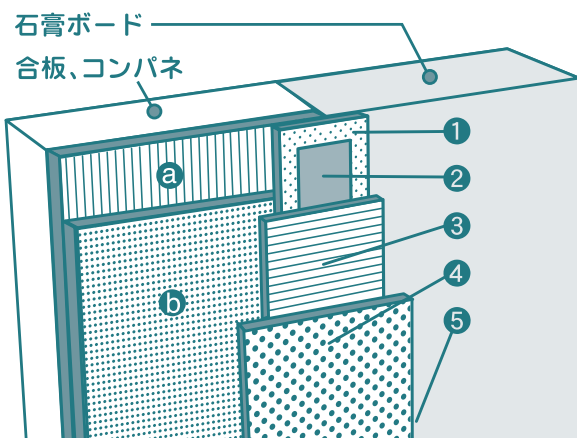
●石膏ボードの下地処理



- ① 下地パテ
- ② ファイバーメッシュテープ・ジョイントテープ
- ③ 中塗りパテ
- ④ 上塗りパテ

※ビス頭も必ずパテ処理を行ってください。
※パテ面の凹凸又は、不十分な乾燥は仕上がり時、特に照明や射光によって色ムラに見える場合があります。パテを十分に乾燥させた上、ボード面とフラットになるようパテをサンドペーパーでサンディングし平滑に仕上げてください。
※ベベルボードの場合、最終仕上げのパテはジョイント部分から両サイドに300mm以上の幅で塗り広げて下さい。
※パテは痩せの少ない塗り壁用の石膏系パテを使用してください。(ビニルクロス用パテの使用を避け、硬化促進剤など硬化を早めるものは使用しないでください。)
※ビス頭も必ずパテ処理を行ってください。

●合板・コンパネの下地処理及び、石膏ボードとのジョイント部分の処理



- ▲ **カチオン系アク止めシーラーを2回以上塗る。**
- 合板やコンパネ面を全面パテ処理する。
上記と同様に
①～④の順にジョイントを処理する。

▲ 注意事項：
・アク止めシーラーは市販品をご購入のうえご使用ください。
・アク止めシーラーの中には有機溶剤の臭いや、刺激の強い商品があります。アレルギー体質の方、小さなお子様がおられる場合には細心の注意のうえご使用ください。
極度のアレルギー体質、過敏症の方はアク止めシーラーの製造メーカーへご相談ください。

施工上の注意
アク止めシーラーは市販品をご購入のうえご使用ください。
アクが出た場合は上から「カルクファルベ」を補修材として塗布してください。(p12.メンテナンスの方法)

●下地がモルタルやコンクリートの場合

a モルタルの養生期間を十分にとる。(2～3週間)

b **▲ カチオン系 アク止めシーラー** を2回以上塗る。

▲ 注意事項:

- ・アク止めシーラーは市販品をご購入のうえご使用ください。
- ・アク止めシーラーの中には有機溶剤の臭いや、刺激の強い商品があります。
アレルギー体質の方、小さなお子様が居られる場合には細心の注意のうえご使用ください。
極度のアレルギー体質、過敏症の方はアク止めシーラーの製造メーカーへご相談ください。

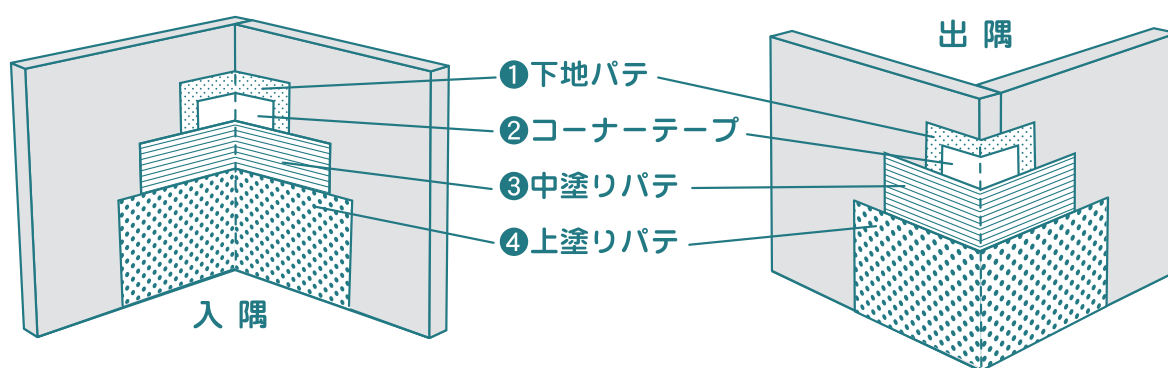
施工上の注意

アク止めシーラーで処理しても合板からアクが出る場合があります。

アクが出た場合は上から「カルクファルベ」を補修材として塗布してください。(p12.メンテナンスの方法)

●入隅、出隅の処理

出隅・入隅共にコーナーテープを入れ割れにくい下地をつくる。



※パテ面の凹凸又は、不十分な乾燥は仕上がり時、特に照明や射光によって色ムラに見える場合があります。
パテを十分に乾燥させた上、ボード面とフラットになるようパテをサンドペーパーでサンディングし平滑に仕上げてください。

※ベベルボードの場合、最終仕上げのパテはジョイント部分から両サイドに300mm以上の幅で塗り広げて下さい。

※パテは塗り壁用の石膏系パテを使用してください。(ビニールクロス用パテのご使用は避けてください。)

※ビス頭も必ずパテ処理を行ってください。



仕上げの前に

天然スイス漆喰 カルクウォール
Calk Wall

Ccalk
Cream

必ずお読み下さい

注意事項

- ① 作業にあたっては作業着を着用し、素肌の露出を少なくしてください。
- ② 目や口に入らないようにしてください。誤って入ってしまった際には、すみやかに清潔な水で洗い流し、必ず医師の診断を受けてください。
- ③ 製品の保管は乾燥した冷暗所にて行ってください。
- ④ 子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 保管期限は未開封で約12ヶ月です。
- ⑥ (冬季)気温が低く、乾燥状態が悪い場合は色むらを起こしやすいので、必ず暖房を入れ、こまめに換気してください。
- ⑦ 震動を伴う作業はスイスウォールの施工前に済ませてください。
- ⑧ スイスウォール施工後の住宅設備機器等の取り付けは、細心の注意をはらってください。

カルクウォール施工手順

養生する

幅木、まわり縁などは1.5~2.0mm程度あけて、マスキングテープでしっかりと養生してください。
※スイス漆喰は強アルカリ性ですので、木材に付着すると木部が変色する恐れがあります。
木部が変色した場合は、酢を水で希釈し塗布すると変色が薄くなります。

ミネラル下地材(H800)の塗布(下地処理後)

施工する前に

- ◆塗っている間もミネラル下地材の骨材が沈殿するので、攪拌しながら施工してください。
- ◆ミネラル下地材は乾燥すると固く密着します。事前にサツシやスイッチ、コンセントなど、施工周辺の養生を確実に行ってください。

1. ミネラル下地材を攪拌機で3分程度きっちりと攪拌してください。
2. ローラーで下地が完全に白く隠れるまで塗布してください。
(ミネラル下地材15kgで塗布面積 約40㎡~50㎡ ※密着力が低下する為、50㎡以上塗り伸ばさないでください。
※パテ部分は特に強く塗布してください。)
3. 24時間しっかりと乾燥させます。

カルクウォール(H540)の仕上げ施工(ミネラル下地材乾燥後)

施工する前に

- ◆ 冬季など気温が低く乾燥状態が悪い場合は、色ムラを起しやすいため、必ず暖房を入れ、こまめに換気してください。
 - ◆ スイス漆喰の乾燥中は水分が乾燥し、室内に大量の湿気が発生するので、こまめに換気してください。
 - ◆ 急激な乾燥はクラックの原因になります。
 - ◆ 濃い色で着色して仕上げる場合は、必ず色ムラができます。自然素材による特徴ですので予め同意を得えた上で施工して下さい。
- ※ カルクウォール25kgバケツに、天然顔料ウラ0.375L ×2缶までを上限としてください。
※ カルクウォール骨材1.5mmの着色は色ムラが起こりやすくなります。

1. カルクウォールを攪拌機で3分程度、柔らかいクリーム状になるまで十分に攪拌します。バケツの底は攪拌しづらいのでよく確認しながら攪拌してください。
2. 着色する場合はカルクウォールの攪拌後、天然顔料ウラ(No.410)をカルクウォールのバケツに加え、さらに3分程度十分に攪拌してください。
3. 乾燥したミネラル下地材の上から、カルクウォールをコテで下こすりします。
4. 下こすりしたカルクウォールが乾かないうちに、追っかけでカルクウォールを上塗りします。塗り厚は骨材0.5mmタイプで2mm程度、骨材1.5mmタイプは4mm程度を目安に塗ってください。また、コテで何度もこするとマットになり、艶ムラになります。仕上げは一度でさっと塗り仕上げてください。

- ※ マスキングテープはカルクウォールが半乾きの状態で剥がしてください。乾燥後に剥がすと綺麗に剥がれません。
- ※ 一度に厚みをつけすぎると、クラックの原因になります。一回あたりの塗り厚を越えないようにしてください。
- ※ 万が一、アクが出た場合は上から「カルクファルベ」を補修材として塗布してください。(p12.メンテナンスの方法)
- ※ 調色の際、最初は濃く見えますが、乾燥して水が引くと色が薄くなります。
- ※ コテ等の道具は、使用后直ちに水洗いしてください。

カルククリーム施工手順

養生する

幅木、まわり縁などは1.5～2.0mm程度あけて、マスキングテープでしっかりと養生してください。
※スイス漆喰は強アルカリ性ですので、木材に付着すると木部が変色する恐れがあります。
木部が変色した場合は、酢を水で希釈し塗布すると変色が薄くなります。

ミネラルファイン(H802)の塗布(下地処理後)

施工する前に

- ◆塗っている間もミネラルファインの骨材が沈殿するので、攪拌しながら施工してください。
- ◆ミネラルファインは乾燥すると固く密着します。事前にサツシやスイッチ、コンセントなど、施工周辺の養生を確実に行ってください。
- ◆カルククリーム(H556)は塗り厚が薄く、下地のパテ処理が透けて見える場合があります。下地が隠れるまでミネラルファインを塗布してください。

1. ミネラルファインを攪拌機で2～3分程度きっちりと攪拌してください。
2. ローラーで下地が完全に白く隠れるまで塗布してください。
(ミネラルファイン10kgで塗布面積 約35㎡～40㎡ ※密着力が低下する為、40㎡以上塗り伸ばさないでください。
※パテ部分は特に強く塗布してください。)
3. 24時間しっかりと乾燥させます。

カルククリーム(H556)の仕上げ施工(ミネラルファイン乾燥後)

- ◆ 冬季など気温が低く乾燥状態が悪い場合は、色ムラを起こしやすいので、必ず暖房を入れ、こまめに換気してください。
- ◆ スイス漆喰の乾燥中は水分が乾燥し、室内に大量の湿気が発生するので、こまめに換気してください。
- ◆ 急激な乾燥はクラックの原因になります。
- ◆ 濃い色で着色して仕上げる場合は、必ず色ムラができます。自然素材による特徴ですので予め同意を得えた上で施工して下さい。
※ カルククリーム10kgバケツに、天然顔料ウラ0.375L ×1缶までを上限としてください。
※ 入隅やコーナー部分の色ムラを防ぐため、散り際に毛先が届くローラーを選定してください。

1. カルククリームを攪拌機で2～3分程度、柔らかいクリーム状になるまで十分に攪拌します。
2. 着色する場合はカルククリーム攪拌後、天然顔料ウラ(No.410)をカルククリームのバケツに加えて、十分に攪拌してください。
3. 乾燥したミネラルファインの上から、カルククリームを中毛ローラー又はコテで塗布します。
塗り厚は0.5mm程度に塗ってください。中毛ローラーで塗布した場合、ローラーでツノが出来る為、やわらかいコテで表面を軽くヘッドカットするか、凹凸の無いウレタンローラーで押さえて仕上げてください。

- ※ マスキングテープはカルククリームが半乾きの状態で剥がしてください。乾燥後に剥がすと綺麗に剥がれません。
- ※ 一度に厚みをつけすぎると、クラックの原因になります。一回あたりの塗り厚を越えないようにしてください。
- ※ 万が一、アクが出た場合は上から「カルクファルベ」を補修材として塗布してください。(p12.メンテナンスの方法)
- ※ 調色の際、最初は濃く見えますが、乾燥して水が引くと色が薄くなります。
- ※ コテ等の道具は、使用后直ちに水洗いしてください。

リフォームでの施工手順

ビニールクロスへの施工

昨今、ビニールクロスから塗り壁へリフォームする要望が増えてきました。ビニールクロスなどの呼吸しない室内は湿気が逃げ場を失いカビが発生し、気管支炎やアレルギーなどの健康被害を生む確率が高くなります。スイス漆喰には、調湿性・消臭効果・防カビ効果に優れ、快適な室内環境に整えることで、人の安全と健康を守る塗り壁材です。しかし、その使い方次第では、折角の快適な室内環境にも影響を及ぼす恐れがあります。既存のビニールクロスの上から施工することによって予測される危険性と、永く快適に住まい続けて頂く為にもご理解のうえ施工してください。

ビニールクロスの上から施工すると・・・

- ・カルクウォールの重さに耐えられず、ビニールクロスの糊が経年によって剥がれる恐れがある。
- ・調湿性がビニールクロスにより遮蔽される。
- ・ビニールクロスの糊を栄養源に、カビが繁殖する恐れがある。
- ・ビニールクロスの汚れがアクになり表面に浮き出る恐れがある。(合板も同様)

施工する前に

- ◆割れの原因になりますので、なるべく石膏ボードは新しいものに貼り替えることをお勧めします。
- ◆石膏ボード・合板などの固定が悪く、下地が動く場合は、ビス固定(P.3 ボードの貼り方)するか、新しいボードに貼り替えてください。
- ◆合板は劣化により、剥離の危険が高くなります。上から新しい石膏ボードに貼り直してください。

既存のビニールクロスが貼ってある場合

① クロスを剥がす



② クロスの裏紙を剥がす

市販の壁紙はがし剤、または霧吹きで水を吹き付けるなどして裏紙を浮かし、ヘラなどで取り除いてください。裏紙が残っていると、次の作業の際に裏紙が浮いてくる可能性があります。

③ パテ・テープ処理

石膏ボードの劣化・剥がれ・穴はパテ処理をし、表面を平滑にしてください。表面の凹凸は割れの原因になります。ジョイント部分の割れや段差がある場合にもパテで埋め、状態が悪ければ石膏ボードを貼りなおして下さい。ボードのジョイント部分、出隅、入隅にファイバーメッシュテープ・ジョイントテープを必ず貼ってください。(P.5 下地処理)

④ ▲ カチオン系 アク止めシーラー を2回塗る

アクが出る場合がありますので目立たないところで試し塗りをして下さい。塗り残しはアクや色ムラが出る可能性があります。

⑤ ミネラル下地材を塗布する

ミネラル下地材を攪拌機で3分程度きっちりと攪拌し、ローラーで下地が完全に白く隠れるまで塗布してください。その後、24時間しっかりと乾燥させます。(p8.カルクウォール施工手順参照)

⑥ 仕上げ

カルクウォールを攪拌機で3分程度、柔らかいクリーム状になるまで十分に攪拌します。乾燥したミネラル下地材の上から、カルクウォールをコテで仕上げてください。(p8.カルクウォール施工手順参照)

▲ 注意事項

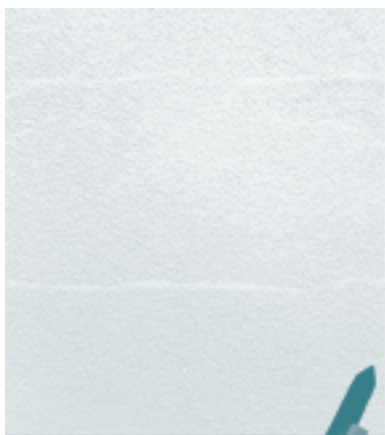
- ・アク止めシーラーは市販品をご購入のうえご使用ください。
- ・アク止めシーラーの中には有機溶剤の臭いや、刺激の強い商品があります。アレルギー体質の方、小さなお子様が居られる場合には細心の注意のうえご使用ください。また、極度のアレルギー体質、過敏症の方は新しい石膏ボードに貼り替えることをお勧めします。

施工上の注意

アク止めシーラーで処理しても石膏ボードからアクが出る場合があります。アクが出た場合は上から「カルクファルベ」を補修材として塗布してください。(p12.メンテナンスの方法)

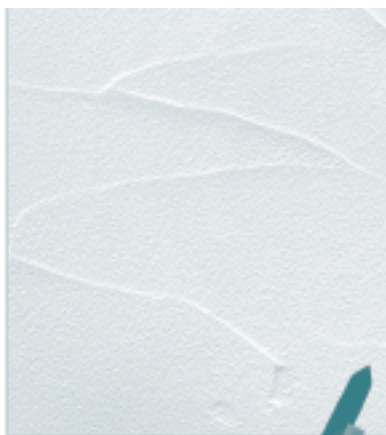
テクスチャーの仕上げ方

カルクウォール



①コテフラット仕上げ

金コテを使いカルクウォールを規定の厚みまで塗り広げ平坦にしていきます。
その後、壁の上の方から金コテを左右または、一定方向に動かしフラットに仕上げます。



②ウェーブ仕上げ

金コテを使いカルクウォールを規定の厚みまで塗り広げ平坦にしていきます。
その後、壁の上の方から金コテを斜め下方方向へ左右に動かしコテ目をつけて仕上げます。



③コテラフ仕上げ

金コテを使いカルクウォールを規定の厚みまで塗り広げ平坦にしていきます。その後、木コテを寝かせ、表面の骨材を引っ張りながら曲線を描くようにパターンをつけていきます。最後に柔らかい金コテで表面をやさしくヘッドカットして仕上げます。

カルクウォール



④ブラシ仕上げ

金コテを使いカルクウォールを規定の厚みまで塗り広げ平坦にしていきます。その後、ブラシを使用し曲線を描くようにパターンをつけていきます。

カルククリーム



⑤ローラー仕上げ

入隅やコーナー部分の散り際に毛先が届くローラーを使用し、厚みが均等になる様に仕上げてください。最後に柔らかい金コテで表面をやさしくヘッドカットするか、凹凸の無いウレタンローラーで押さえて仕上げてください。(カルクウォールではローラーは使用できません)



⑥ブラシ仕上げ

金コテを使いカルククリームを塗り広げ平坦にしていきます。その後、ブラシを使用し曲線を描くようにパターンをつけていきます。

- ☆仕上げパターンは、出来るだけお施主様立会いのもと、同意を得た上で施工することをお奨めします。
- ☆同じ面、部屋はなるべく一人で仕上げ、パターンに偏りが無いように仕上げてください。
- ☆コテで何度もこするとマットになり、艶ムラになります。仕上げは一度でさっと塗り仕上げてください。

メンテナンスの方法

クラックの補修方法（入隅など）



表面のヘアークラックや、ぶつけて少し剥がれた場合は、以下の方法で補修してください。

- 1 クラック周辺の表面を水（霧吹き、スポンジなど）で十分に濡らします。



- 2 カルクウォールを少量取り、クラック部分が少し盛り上がるように塗り付けます。余分なカルクウォールを取り除き、スポンジで表面を馴染ませるように整えます。



- 3 フラット仕上げの場合は、カルクウォールの乾燥後に#200以上の目の細かなサンドペーパーで表面の凹凸を軽く削り仕上げてください。



染み込んだ汚れ（醤油など）

汚れの程度によりお試しください。

- 遅 ・アルカリ性である重曹水を霧吹きで吹きつけ、喰表面を濡らします。汚れの成分によってある程度の日数が必要な場合があります。



- 即 ・#200以上のサンドペーパーを使用し、表面を軽く研磨してください。



・深く染み込んだ汚れは、一度汚れ部分を取り除いてください。取り除いた周辺を水（霧吹き、スポンジなど）で十分に濡らします。カルクウォールを補修部分が少し盛り上がるように塗り付けます。余分なカルクウォールを取り除き、スポンジで補修部分と周辺部分の表面を馴染ませるように整えてください。フラット仕上げの場合は、サンドペーパーで表面の凹凸を軽く削り仕上げてください。

表面的な汚れ（手垢など）

汚れの程度によってお試しください。

- 柔 ・消しゴムを使用し表面の汚れを取り除いてください。
・消しゴムで消えないしつこい汚れは、メラミンスポンジを使用し汚れを取り除きます。



- 堅 ・それでも消えない汚れは、#200以上の目の細かなサンドペーパーを使用し、表面を軽く研磨し汚れを取り除きます。



アクが出た時の補修方法

※カルクファルベで補修する際は、コテの表情が変わるため壁一面毎に仕上げてください。

※パターンがぼやけたりする事があるため、細かなパターン、フラット仕上げは目立たないところで試し塗りしてください。

- 1 ミネラルファインをローラーで塗布します。アクの色が隠れるまでミネラルファインを塗布してください。



- 2 ミネラルファインの乾燥後、カルクファルベをローラーで塗布します。



※ 着色仕上げの際は色合わせが必要です。攪拌直後と乾燥後の色が異なりますのでご注意ください。はじめは薄い色から作成し色合わせを行ってください。

※ 補修直後は少し目立ちますが、次第に馴染んでいきます。

※ カルクウォールを上から重ね塗る場合は、ミネラル下地材を塗布してから行ってください。

SWISSWALL スイスウォールシリーズ

<p>カルクウォール (天然スイス漆喰) No.540</p>		<p>内装・外装に施工できる天然成分の本漆喰(2タイプ) ・骨材 0.5mm 入り 塗厚：1.0mm-2.0mm ・骨材 1.5mm 入り 塗厚：1.5mm-4.0mm</p> <p>全成分 ブナセルローズ繊維・ブナセルローズ粉、石灰石粉・石灰石・石灰石粒・石灰泥、チヨーク粉、リノールスタンドオイル(亜麻仁油)、水、でんぷん、アルミナ粉、消石灰</p>
<p>ミネラル下地材 (シーラー) No.800</p>		<p>カルクウォールの専用下地材</p> <p>全成分 ブナセルローズ粉、カリ塩水ガラス、チヨーク粉、水、大理石粉、大理石粒、オーガニックコンパウンド、タルカム</p>
<p>カルククリーム (天然スイス漆喰) No.556</p>		<p>なめらかで純白のクリームのような天然スイス漆喰</p> <p>全成分 セルローズ繊維、石灰粒、石灰石、消石灰、チヨーク粉、水、リノールスタンドオイル(亜麻仁油)、アルミナ粉</p>
<p>ミネラルファイン (シーラー) No.802</p>		<p>カルククリーム・ファルベ専用の無機下地材</p> <p>全成分 ブナセルローズ粉、カリ塩水ガラス、チヨーク粉、水、大理石粉、大理石粒、オーガニックコンパウンド、タルカム</p>
<p>ファルベ (メンテナンス用) スイス漆喰 No.630</p>		<p>アク・色ムラの補修、古い漆喰壁などのメンテナンスに</p> <p>全成分 セルローズ粉、石灰粒、石灰石、消石灰、チヨーク粉、リノールスタンドオイル、(亜麻仁油)、水、二酸化チタンタルカム、アルミナ粉</p>
<p>ウラ (着色顔料) No.410</p>		<p>カルクウォールに混ぜて色付けする天然鉱物顔料 (リボス社製)</p> <p>全成分 水・酸化鉄・天然鉱物・ビーズワックスソープ・アマニスタンドオイル・ダンマル樹脂・天然樹脂エステル・オレンジオイル・イソアリファート・エタノール・珪酸・メチルセルローズ・ホウ砂・ホウ酸</p>



ご不明な点は、お問い合わせください。

※ その他の仕上げ材が塗ってある場合、お施主様自身が施工される場合など

株式会社 イケダコーポレーション

☎0120-544-453

e-mail info@iskcorp.com <http://www.iskcorp.com>